

# 兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第12週(3月17日~3月23日)

平成20年3月27日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

国立感染症研究所 感染症情報センターホームページにて

麻疹教育啓発ビデオ~はしかから身を守るために~ が掲載されています。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/Video/measlesVideo.html>

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

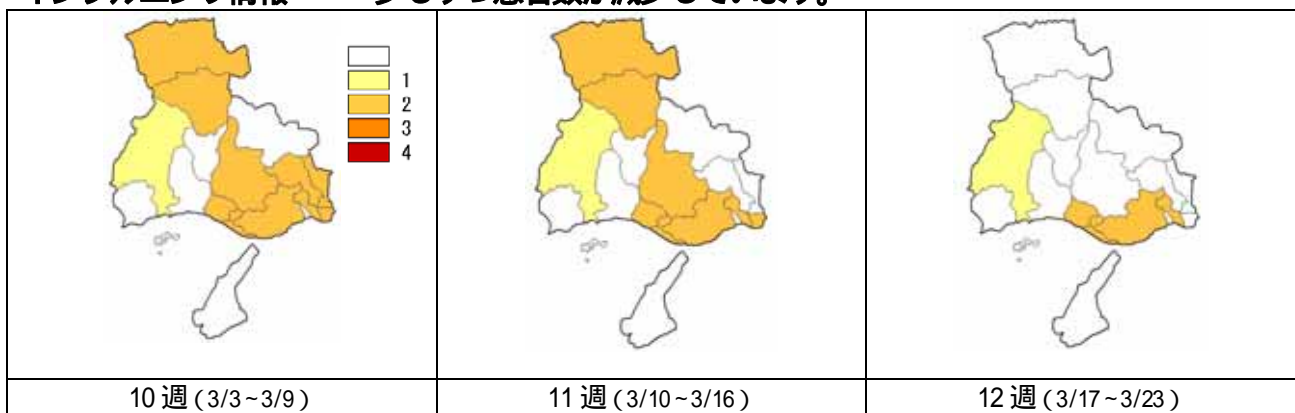
標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

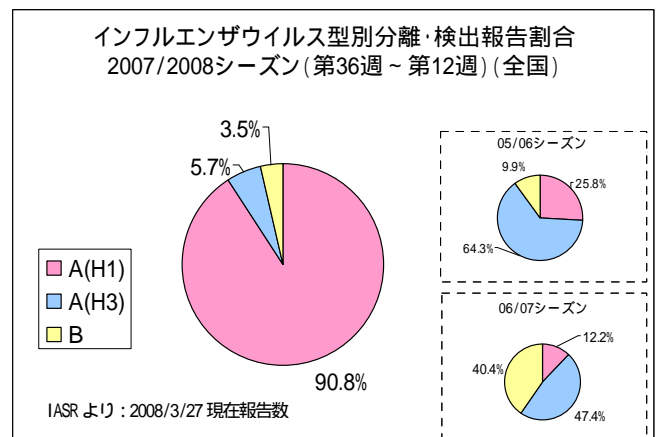
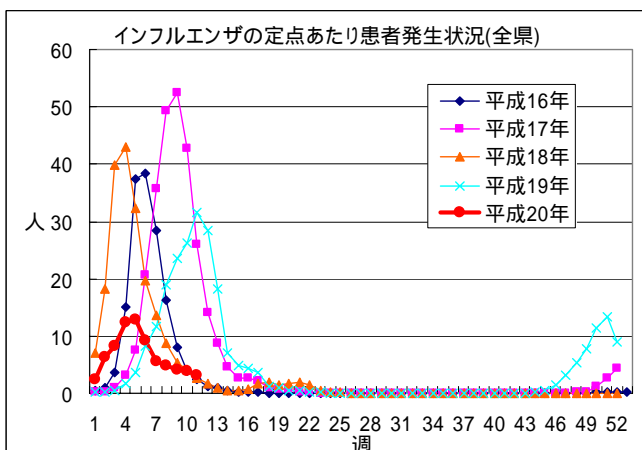
## インフルエンザ情報 少しずつ患者数が減少しています。



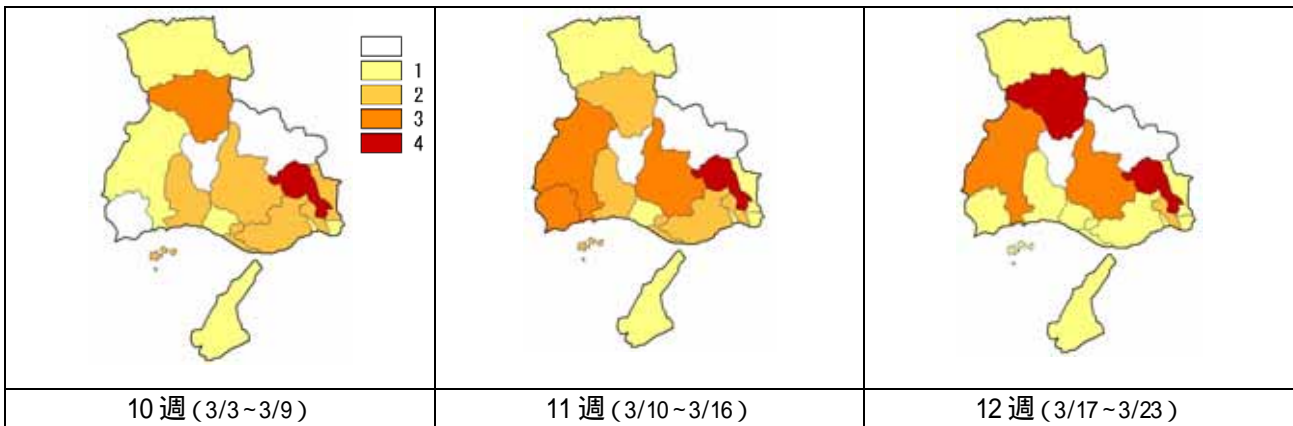
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は、3.01人(先週4.83人)となり第6週以降、減少が続いています。12県で警報レベル、17道県(兵庫県含む)で注意報レベルとなっています(第11週現在)。全国で分離されているインフルエンザウイルスは、**B型**の割合が少しずつ増えているものの、依然として約9割を**AH1亜型(Aソ連型)**が占めている状態です。(第36週~12週)

今週、県内の定点からは患者数**389人**(先週635人)、定点あたり患者数**1.95人**(同3.19人)の報告がありました。全国と同様に、第6週以降減少が続いていますが、第7週以降は緩やかに減少しています。保健所別にみても、全ての保健所管内で、定点あたり患者数が注意報レベルである10.0人未満となっています。

インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



**感染性胃腸炎 流行が続いています。**



**感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は今週減少しました。感染性胃腸炎の主要な病原体とされているのがノロウイルスで、感染すると下痢・嘔吐・吐き気・腹痛などの症状を呈します。感染拡大や、二次感染を防ぐためには、排泄物（吐物・便）やそれらが付着した着衣の消毒処理・処理時における使い捨て手袋やマスクの着用・処理後の手洗いなどが大切です。また、例年2～4月頃はロタウイルスによる感染性胃腸炎の流行時期です。症状や予防法はノロウイルスと同様ですが、乳幼児に多いこと、白色の便性下痢が特徴です。

厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ & A**」が掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf>（厚生労働省）

**その他の定点把握感染症等の概況**

**水痘**の定点あたり患者数は今週増加しました。毎週増減を繰り返しながら推移しています。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれており、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点あたり患者数は今週増加しました。春から初夏にかけて流行するので、今後の動向に注意が必要です。**流行性角結膜炎**は、主にD群アデノウイルスによる感染症で、今週大きく増加しました。**RSウイルス感染症**は冬期のピークを終え、今後も減少していくものと予想されます。

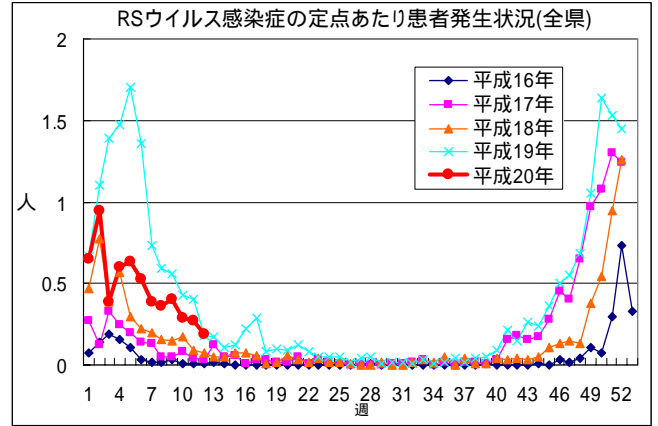
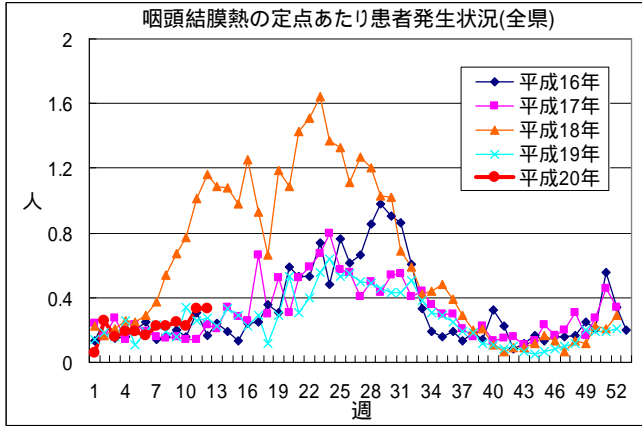
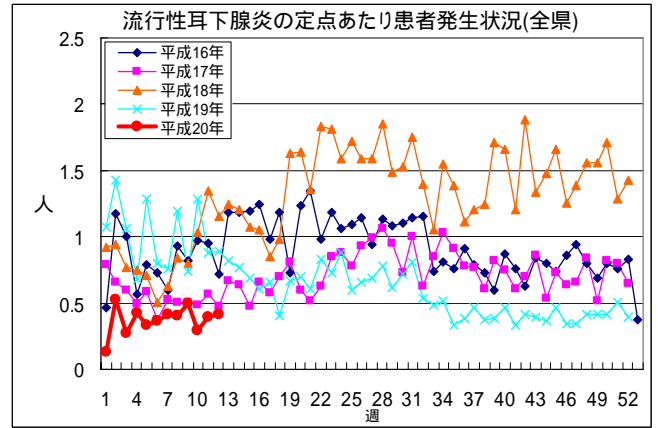
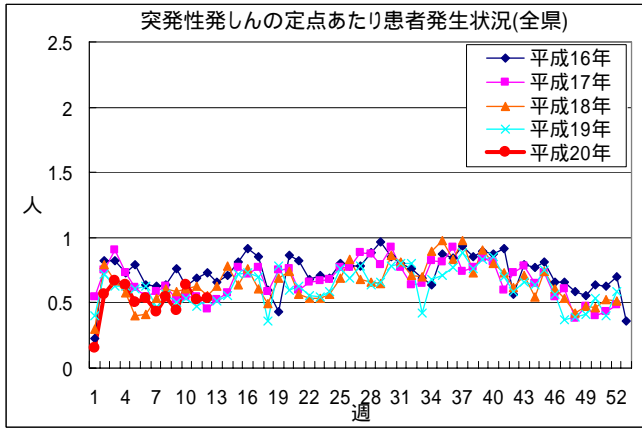
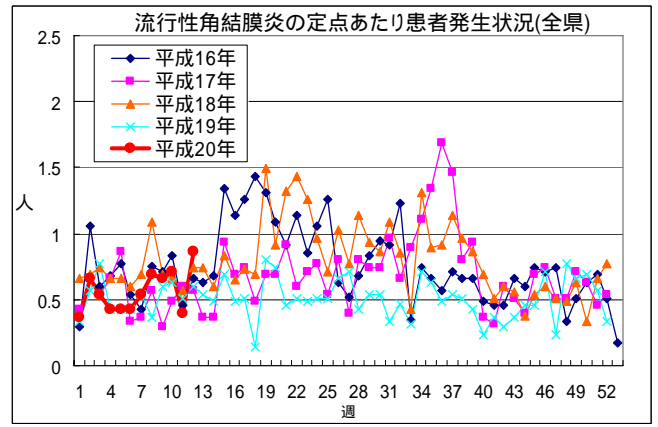
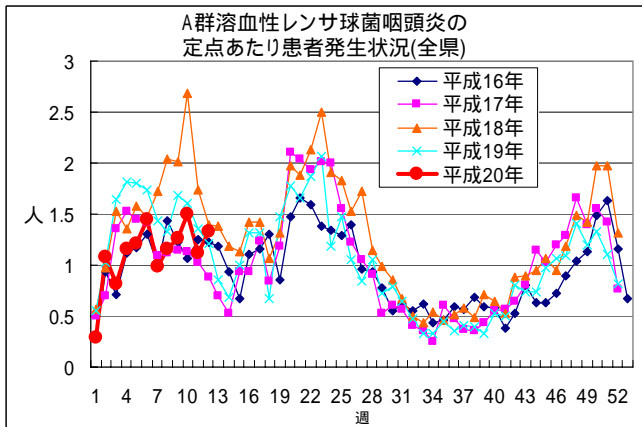
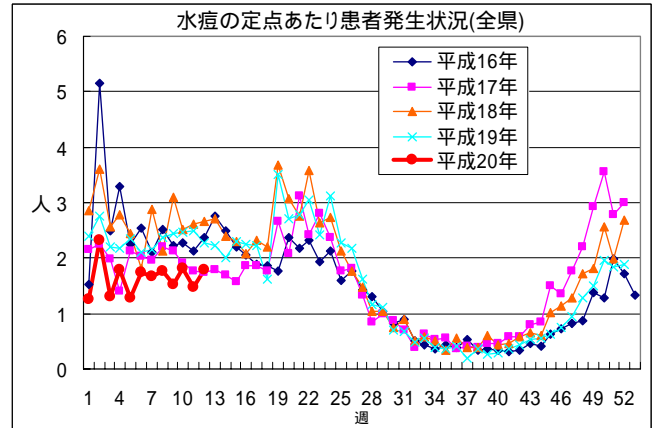
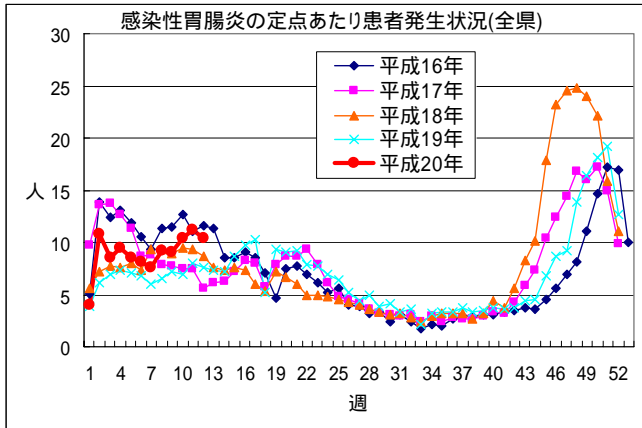
**定点あたり患者数の上位10位の疾病**

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	感染性胃腸炎	10.38	11.18	-0.80	6位	突発性発しん	0.54	0.52	+0.02
2位	インフルエンザ	1.95	3.19	-1.24	7位	流行性耳下腺炎	0.42	0.39	+0.03
3位	水痘	1.78	1.47	+0.31	8位	咽頭結膜熱	0.33	0.33	±0.00
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.12	+0.21	9位	RSウイルス感染症	0.19	0.27	-0.08
5位	流行性角結膜炎	0.86	0.40	+0.46	10位	手足口病	0.08	0.09	-0.01

**全数把握感染症**

- 1 類感染症： 報告はありません。
- 2 類感染症： **結核 18名**（神戸市8名、尼崎市1名、姫路市2名、西宮市3名、伊丹健康福祉事務所管内1名、宝塚健康福祉事務所管内1名、加古川健康福祉事務所管内1名、社健康福祉事務所管内1名）
- 3 類感染症： **腸チフス 1名**（姫路市）
- 4 類感染症： 報告はありません。
- 5 類感染症： **梅毒（晩期顕症梅毒） 1名**（姫路市）  
**風しん 1名**（尼崎市；47歳/ワクチン接種歴不明）  
**麻しん 2名**（神戸市；10歳/ワクチン接種歴無/第10週に報告のあった者と同クラス、伊丹健康福祉事務所管内；19歳/ワクチン接種歴不明）
- 追加報告： **結核 3名**（姫路市2名；第11週、加古川健康福祉事務所管内1名；第11週）  
**後天性免疫不全症候群 1名**（第11週）

## 目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。